

活動名称 (40字以内)	森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー		
団体名等	大学院農学生命科学研究科附属演習林 北海道演習林		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		3 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019年8月 ~ 2020年3月	主な活動場所	附属演習林北海道演習林 (北海道富良野市)
	数日間-2ヶ月間程 (応相談)		
目的	各種の実務的な森林フィールド調査を体験することで、生の森林に触れ、森林と人間・社会との関係や持続可能な未来について実体験をもとに考える機会を提供する。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>附属演習林北海道演習林では、木材生産(経済的機能)と環境保全(公益的機能)とを両立させつつ両者を増進させ、多様な生態系サービスを持続的に提供することを通じて社会に貢献する順応的な森林管理技術を考究し、半世紀以上にわたって事業的規模の森林経営実験を継続しながら検証と改良を加え続けている。</p> <p>本体験活動では、北海道演習林の針広混交天然林を対象として、北海道演習林で実行している持続可能な森林管理を実践する上で不可欠な以下の森林調査(フィールドワーク)に従事する。一過性の非日常的な体験としてではなく、日常として濃密に森林調査に携わることで、より深い実体験とすることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然状態の森林生態系の動態を大面積かつ長期にわたって詳細に追跡・観測する研究サイトにおける生態学的調査・測定。 ・木材生産を行う経営林における、林種の区分と各林種面積算定のための森林測量、および資源量の現地調査。 ・小型無人航空機を用いた森林リモートセンシングと、センシング結果に基づく森林資源量の推定。 ・上記の収集データに基づくGISを用いた図面作成、ならびに当該経営林における森林管理計画の立案・作成。 ・森林管理計画に基づく収穫木の選定と収穫量の調査。 ・収穫した林産物の規格・形質調査に基づく品等評価。 ・様々な林域の多様な林相の森林に設置されている永久サンプリングプロットにおける、木材生産に伴う森林構造と資源量の推移をモニタリングするための調査・測定。 <p>(※活動時期によって体験できる調査内容は異なります。)</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・期間中の滞在には、北海道演習林の宿泊施設(自炊型)を利用可能。 ・基本的な1日の活動の流れ: 朝、ミーティングの後、8時半過ぎに事務所を出発して現場(山)に向かい、終日林内で調査等の作業を行う。夕方16時頃に事務所に戻る(適宜休憩あり)。その後、17時頃まで室内作業や振り返りを行う。 ・土日、祝日は自由行動。 		
参加するための費用※	内 訳(1名当たり)	その他※特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 無料 円 (食費) 実費 円 () 円 計 円	奨励金額	夏: 35,000 円 冬: 22,400 円
ウェブサイト等	北海道演習林: http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/hokuen/		